加飾技術研究会

第２５回（２０１７年第３回）例会

　大量生産・大量消費の時代は終焉を迎え、人の感性に訴えかける製品開発が求められています。さらに、加飾は、本来の目的である見栄え・高級感・質感の向上のみならず、「各種機能を付与した加飾」へと展開し、環境問題から、ウエット方式の加飾に代わって、「ドライ方式の加飾」が注目され、「自動車の外装にプラスチック加飾の採用」の可能性も高くなってきています。加飾研で、皆様とともに、これらの最新動向を学び、新たな価値創造に取り組みます。

　加飾技術、特にフィルム加飾は、高意匠性付加価値創造の重要なツールです．

　今回の例会では、ＩＭＤ（In Mold Decoration）の世界的な先駆者である日本写真印刷様の講演をお聞きし、サンプル展示室、印刷歴史館を見学させていただきます。

また、ナビタス様から、特徴のあるOMD（Out Mold Decoration）“NATS”を中心とする

３次元転写技術の講演をお聞きします。

　新しい可能性を探して，是非ご参加ください．

**主催：加飾技術研究会**

**催日：２０１７年１１月２１日（火）**

**場所：日本写真印刷、産業資材事業部、および、印刷歴史館**

（〒604-8551 京都市中京区壬生花井町）

１２：４５　　　　　　　受付開始

１３：１５－１３：２０　加飾技術研究会の挨拶と連絡

１３：２０−１４：２０　**「IMD工法概要」**

（日本写真印刷　寺下　勝氏）

１４：３０−１５：４５　**サンプルならびに印刷歴史館見学**

（フィルム加飾サンプル、および、印刷の歴史展示）

１５：５５−１６：５０　**「広がる3次元転写技術とその可能性」**

（ナビタス　柴田 直宏氏）

１７：１５−１９：１５　 **情報交換会**（場所未定））

※時間は目安です．当日の進行により若干前後致します

**参 加 申 込 書**

本案内は，加飾技術研究会・会員様向けの案内です

トータル定員：１００名、申し込み期限：一次１０／３（火）

（定員、期限になりましたら締め切らせていただきます。定員に満たない場合は、非会員様に案内いたします）

加飾技術研究会は，会員の皆様と加飾技術を研究し，情報の共有とビジネス創出の場を継続的に提供いたします．

▶加飾技術に関する情報共有、　▶ネットワーク形成

▶ビジネスチャンス創出、　▶懇親と親善の場を提供する

会員の皆様，共に付加価値創出とビジネス創出を図りましょう！

▶メール宛先： [info@kasyoku.org](mailto:info@kashoku.org)

平成２９年　　月　　日

加飾技術研究会 事務局　御中

私は，加飾技術研究会　第２５回（２０１７年第３回）例会に出席します．

-=-=-=-=-=-=-=-

・例会は，法人会員は３名まで，個人会員は１名まで無料です．

　（上記以外は５０００円／１名）

・情報交換会は，３５００円／１名です．

　（２日前を過ぎてのキャンセルは実費を申し受けます）

-=-=-=-=-=-=-=-

会費等送付先　ゆうちょ銀行　総合口座，１０３２０−４９４０７１７１

　　　　　　　口座名義　加飾技術研究会（カショクギジュツケンキュウカイ）

　　　　　　　店名○三八（ゼロサンハチ）店番０３８（普）４９４０７１７

-=-=-=-=-=-=-=-

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 会員種別  （いずれかに〇） | | 【 】法人会員・【　】個人会員・【 】賛助会員・【 】学生会員 | |
| ふりがな  会社・団体名 | |  | |
| 会費の支払い方法  （いずれかに〇） | | 【 】振込（　月　日予定）　・　【 】当日支払い | |
| 参加者① | 所属・職位 |  | （参加するものに〇）  【 】例会  【 】情報交換会 |
| ふりがな  申込者氏名 |  |
| メールアドレス |  |
| 参加者② | 所属・職位 |  | （参加するものに〇）  【 】例会  【 】情報交換会 |
| ふりがな  申込者氏名 |  |
| メールアドレス |  |
| 参加者③ | 所属・職位 |  | （参加するものに〇）  【 】例会  【 】情報交換会 |
| ふりがな  申込者氏名 |  |
| メールアドレス |  |